



第5回 『科学・技術とヒューマニティ』

懇話会テーマ

＜宇宙はいかに始まったか、小惑星探査機「はやぶさ」＞

毎年好評を博しております「科学・技術とヒューマニティ」セミナーも、おかげさまで第5回を開催することになりました。

今回は、日本の宇宙科学の権威、お二人による「宇宙はいかに始まったか」、「小惑星探査機『はやぶさ』」と題した懇話会のテーマに取り上げ、これまでとはまた異なるセミナーの実施要項がまとまりましたので、ご案内申し上げます。セッションのテキストを含めて、広く科学・技術に関心のある方が対象となりますので、ぜひともご参加をご検討下さいませようお願い申し上げます。



プログラム・ディレクター

村上陽一郎 先生

東京大学名誉教授（科学史家、科学哲学者）
一般社団法人日本アスペン研究所副理事長

【開催日】 2018年5月18日（金）～5月20日（日）

【会場】 クロス・ウェーブ府中
〒183-0044 東京都府中市日鋼町 1-40
<http://x-wave.orix.co.jp/fuchu/>

【科学・技術とヒューマニティ・セミナーの企画の背景】

「エグゼクティブ・セミナー」、「ヤング・エグゼクティブ・セミナー」の卒業生から、「古典に学ぶ」対話の次の段階を求める声も多く聞かれます。本セミナーは、そのような皆さまからの要望に応えると共に、過去のアスペン・セミナーに参加しておられなくても科学・技術の意思決定に関わる立場の方々を意識して構成した全く新しいセミナーです。

【第5回の展望】

このセミナーは、「古典に学ぶ」というアスペンの精神を維持しながら、科学・技術と現代社会が切り結ぶ課題と取り組む基礎となるような内容を持ち、毎回トピックスを選んで、特に懇話会を中心に、参加メンバーのご関心に応えようとするものです。今回の宇宙論は、理想的なお二人の講師をお迎えすることが出来ました。GPSのような宇宙開発に関わる技術開発が、世の中を変えつつありますし、極微の世界を説明する量子力学が、138億年前からの、この広大な宇宙の歴史を解明しようとし、また観測手段の飛躍的進歩が、地球型惑星の大量発見や地球外生命の可能性など、息をのむような新しい世界へと私たちを誘っています。セミナーでは、そのようなポイントもお楽しみください。

(村上 陽一郎 先生 記)

【対象】 企業、行政、NPO など広い分野から、役員・管理職・次世代のリーダー候補の参加者を募ります。ただし対話という性質上、**原則 20 名**を限度とさせていただきます。

【スケジュール】(予定)

	1 日目 5月18日(金)	2 日目 5月19日(土)	3 日目 5月20日(日)
朝食			
午前 の部	11:00~12:20 オープニングセッション 自己紹介 オリエンテーション	8:30~12:00 セッションⅡ 「デモクラシー」	8:30~12:00 セッションⅢ 「科学・技術と社会」
昼食			
午後 の部	13:00~16:35 セッションⅠ 「ヒューマニティ」	13:00~14:30 オープンカフェ 14:30~16:30 自主研修	13:00~15:30 総括セッション
	16:50~18:50 懇話会Ⅰ	16:30~18:30 懇話会Ⅱ	
	19:00~21:00 レセプション	19:00~21:00 夕食会	

【懇話会 I】

講演者： 佐藤 勝彦 氏

(東京大学名誉教授、独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター所長)



1945 年生まれ。京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程、日本学術振興会奨励研究員を経て、1974 年理学博士の学位を取得。1979 年～1980 年デンマークの北欧理論物理学研究所(NORDITA)客員教授、1982 年東京大学理学部物理学科助教授、1990 年東京大学理学部教授となり、2009 年定年退官。その間、国際天文学連合第 47 委員会(宇宙論)委員長などを歴任。明星大学理工学部物理学科客員教授、大学共同利用機関法人自然

科学研究機構機構長を務めた後、2017 年より現職。

1989 年井上学術賞、1990 年仁科記念賞を受賞、2002 年紫綬褒章を受章。2014 年より文化功労者。著書は、『相対性理論(岩波基礎物理シリーズ(9))』(1996 年岩波書店)、『インフレーション宇宙論—ビッグバンの前に何が起こったのか』(2010 年ブルーバックス新書)、『宇宙は無数にあるのか』(2013 年、集英社新書)、『宇宙 138 億年を楽しむ本—星の誕生から重力波、暗黒物質まで』(2017 年 PHP 文庫)、『ますます眠れなくなる宇宙のはなし』(2017 年宝島 SUGOI 文庫) など多数。

講演題目：「宇宙はいかに始まったか？ — 理論と観測で迫る宇宙初期 —」

要旨： 私たちの住む世界には始まりがあったのだろうか？ 始まりがあったとすれば、どのようにこの世界は始まったのだろうか？ この疑問は私たち人類の歴史が始まったところからの問いかけです。20 世紀になって天文学的に私たちの宇宙は今、風船が膨らむように膨張していることが発見されました。これは時間を遡れば宇宙には始まりがあったことを示しています。アインシュタインの相対性理論を始めとする物理学の進歩によって、宇宙は「無」の状態から生まれインフレーションと呼ばれる急激な膨張の後、火の玉宇宙(ビッグバン)として宇宙は生まれたと考えられています。近年数多くの人工衛星の観測や巨大望遠鏡の観測によって宇宙創世の理論が裏付けられつつあります。ここでは宇宙論の研究の歴史を振り返りながら、インフレーション理論や最新の観測成果、また新たな重力波を用いた観測計画など紹介します。

(佐藤 勝彦 氏 記)

【懇話会 II】

講演者： 的川 泰宣 氏

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)名誉教授)



1942 年生まれ。東京大学大学院工学研究科航空学科専攻博士課程修了。東京大学宇宙航空研究所、宇宙科学研究所、宇宙航空研究開発機構（JAXA）教育・広報統括執行役、同宇宙科学研究本部对外協力室長等を歴任。ミューロケットの改良、数々の科学衛星の誕生に活躍し、1980 年代には、ハレー彗星探査計画に中心的なメンバーとして尽力。1996 年からの「はやぶさ」プロジェクトでは広報を担当。2005 年には、JAXA 宇宙教育センターを先導して設立、会長となる。日本の宇宙活動の「語り部」であり「宇宙教育の父」とも呼ばれる。

2007 年度神奈川文化賞（科学技術部門）、2010 年度南日本文化賞（科学技術部門）を受賞。著書は、『ニッポン宇宙開発秘史—元祖鳥人間から民間ロケットへ』（2017 年 NHK 出版新書）、『宇宙飛行の父ツオルコフスキー：人類が宇宙へ行くまで』（2017 年勉誠出版）、『的川博士の銀河教室』（2012 年毎日新聞社）、『小惑星探査機はやぶさ物語』（2010 年、生活人新書）、『月をめざした二人の科学者—アポロとスプートニクの軌跡』（2000 年中公新書）など多数。

講演題目：小惑星探査機「はやぶさ」の話

要旨：2003 年に打ち上げ 2010 年に帰還した小惑星サンプルリターン機「はやぶさ」プロジェクトのたどった経過を時系列に沿って述べ、それが果たした意味を概括します。ピンチに陥った回数が多いのですべてを述べることは不可能ですが、厳しかったいくつかの危機に重点を置き、それらを切り抜けたプロセスについて時間の許す限りで事実を展開し、結果として得られた教訓を、いくつかの視点を設定して引き出してみます。

(的川 泰宣 氏 記)

【モデレーター】

村上 陽一郎 先生 (東京大学名誉教授)

渋谷 治美 先生 (埼玉大学名誉教授)

【リソースパーソン】

荻野 弘之 先生 (上智大学文学部教授)

野家 啓一 先生 (東北大学名誉教授)



渋谷先生



荻野先生



野家先生

【テキスト】 カント『啓蒙とは何か』 / リッケルト『文化科学と自然科学』 / ホワイ
ット『機械と神』 / シャルガフ『ヘラクレイトスの火』 / プラトン『国家』
 / トクヴィル『アメリカのデモクラシー』 / オルテガ『大衆の反逆』より「専
門家の野蛮性」 / 福沢諭吉『学者の職分を論ず』 / ウェーバー『職業としての
政治 / 職業としての学問』 / スノー『二つの文化と科学革命』 / シュレー
ディンガー『生命とは何か』 / ブッシュ『科学—この限りなき前線』 / モノ
ー『偶然と必然』 / 小林傳司『トランス・サイエンスの時代』

以上の作品からそれぞれ抜粋した全 14 テキスト

※テキストは本セミナーのために厳選しましたので、他のセミナーのテキストとは異なります。

【参加料金】 会員企業 : 27 万円/人
賛助会員企業、FID-Z 会員 : 29 万円/人
非会員企業、非FID-Z 会員 : 31 万円/人

(各税込)

【お支払方法】 参加確定後、請求書をご送付いたします。請求書に記載の期日までにお振
込みください。

【テキスト送付時期】 3月下旬～4月上旬を予定

【キャンセルについて】

お申込み後キャンセルされる場合につきましては、以下のとおりキャンセル料
金を頂戴いたしますので、ご了承ください。

【キャンセル料金】

参加確定後	¥30,000 (税込)
セミナー開催 7 日前～開催 2 日前 (開催日初日を含まず起算)	参加料金の 3 割 (税込)
開催日前日および開催日当日	参加料金の 5 割 (税込)

参加ご希望の方は、添付の申込書にて、必要事項をご記入の上

FAX： 03-3405-1668 または電子メール mimura@aspeninstitute.jp にて

2017年3月15日(木)までにお申込み下さい。原則定員 20 名とさせていただきます。

参加の可否につきましては、申込み締切後にご連絡致します。

※ 本ご案内は、会員企業と過去のアспен・セミナー参加者の皆さまにお送りしておりますが、どなたでもご応募いただけます。

※ 万が一お申込み多数の場合は、会員企業からの派遣を優先させていただきます。

※ また、同一企業からのご参加は、人数を制限させていただく場合がございます。

詳しくは日本アспен研究所セミナー事務局に、できればメールにてお問合わせください。

一般社団法人日本アспен研究所（三村）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階

TEL: 03-6438-9208

E-mail: mimura@aspeninstitute.jp / FAX: 03-3405-1668